

人は環境と努力で変化する ～嘆かず前進!～



鈴木 勝

学生時代、教職課程で次のような講義があった。双子の兄弟が、出生後すぐに両親を亡くし、裕福な家庭と貧しい家庭へ里子として別々に引き取られ、それ以降の成長過程を比較するという講義であった。結果として、裕福な家庭で育てられた子は穏やかに育ち、環境や教育の大切さが立証されたというものであった。

焦げた魚を食べると病気になる、と言われた時代があったが、家族で同じ食生活をすれば、皆同じ病気にかかってしまう。すなわち、病気は遺伝ではなく環境が優先されるとも言える。

以前読んだ本に、人の性格は3つの「ち」で形成されると書かれていた。3つの「ち」とは「血筋」、「地域」、「知識」である。これらの影響を受けて人は成長するとのことである。「血筋」や「地域」は生まれた環境であるが、ある程度成長すると、人は自助努力で改善することができ、「知識」は本を読んだり、行動を起こしたりすることで積み上げることができる。自分の人生を、血筋や地域に責任転嫁して嘆くのではなく、自ら奮い立ち、勉強し続けることが必要であると思われる。

人権

それは愛

戦争と人権について

20世紀におきた二度の世界大戦では、多くの人の尊い命が失われるとともに、人権が踏みにじられるような出来事も多く発生しました。このような経験から、国際社会では、人権を守ることが世界平和にもつながる、といった考え方が主流になっていきました。そこで、1948年(昭和23年)12月10日、国際連合第3回総会において、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、「世界人権宣言」が採択されました。

しかしながら、戦争や紛争は今も世界各地で起き、人権が守られていない人々がいます。現在においても民間人が暴行・虐殺されたとの報道があるなど、極めて重大な人権侵害行為が発生しています。

マルチ・後出しマルチで 友人もお金も無くすことに…

社会経験の乏しい若者が、SNSの知人等から「マルチ商法」を勧誘されるトラブルがコロナ禍で増えています。多額の初期費用を取戻すために、友人を誘って信用を失い多額の借金だけが残った、との事例もあります。また、マルチ商法に似た「後出しマルチ」もあるので注意が必要です。

事例

知人から「1日5分で月30万円稼げる副業がある」と誘われた。最初に70万円の登録料が必要と言われ「お金がない」と断ったが「消費者金融で借りてもすぐ取戻せる」と言われ、その通りにした。しかし稼げず、知人に苦情を伝えると「人を誘えばマージンがもらえる」と言われた。友人を誘ったが皆に断られ借金が返せない。

消費者生活センターからのアドバイス

上記事例は、後から「人を紹介するとマージンがもらえる」と説明される「後出しマルチ」です。後出しマルチは、ほとんどの場合クーリングオフができず、悪質性の高い事業者に見受けられます。

簡単に儲かる話はありません。また、借金をするような契約をしてはいけません。被害は若者に多く、家族の見守りが大切です。本人や家族が少しでも不安に感じるときは消費生活センターにご相談下さい。

ひとりで悩まず すぐ相談!

消費者ホットライン

188 局番なし

松伏町消費生活センター

又は ☎984-7208

問合せ

教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815

自分たちこそが正しいという一方的な考え方は、対立を生み出し、争いに発展させます。考え方が違って、相手の立場を尊重し、思いやり、対話していくことが必要です。

ぜひ、あらためて「平和」と「人権」の大切さを考えてみてください。

埼玉県では、「すべての県民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会」の実現に向けて、「人権尊重社会をめざす県民運動」を展開しています。

8月は「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」です。